

◇ 笠利埼灯台は点灯から 60 周年! 2022. 3. 31

- 笠利埼灯台は、奄美大島の最北端を示す海のみちしるべとして 1962 年(昭和 37 年)3 月 31 日に点灯 2022 年(令和 4 年)3 月 31 日で 60 周年を迎えます。



笠利埼灯台の全景



灯器(発光する機械)

➤ 灯台の要目

- 名前 笠利埼灯台 (かさりさきとうだい)
 場所 鹿児島県 奄美市笠利町 笠利埼
 位置 北緯 28-31-46 (46.07) 東経 129-41-22 (21.55)
 色及び構造 白色 塔形
 灯質(光り方) 単閃白光 毎 15 秒に 1 閃光 (15 秒に 1 回光ります)
 光度(光の強さ) 実効光度 180,0000 カンデラ (ロウソク 18 万本分の光の強さ)
 光達距離(光の届く距離) 20.5 海里 (およそ 38 キロメートル)
 明弧(光を発する方向) 79 度から 335 度(右回りで概ね西南西方向から南南東方向まで)
 高さ 地面から灯台の最上部まで 13 メートル(13.1)
 平均水面(海面)から灯台の灯火まで 60 メートル(59.53)



➤ アクセス&風景

奄美空港から車で約 20 分、駐車場から階段を約 100m、徒歩 5 分ほどで灯台に到着します。

灯台のある高さ 50m からは、丸い水平線の青い海と空や珊瑚礁の絶景を楽しむことができます。

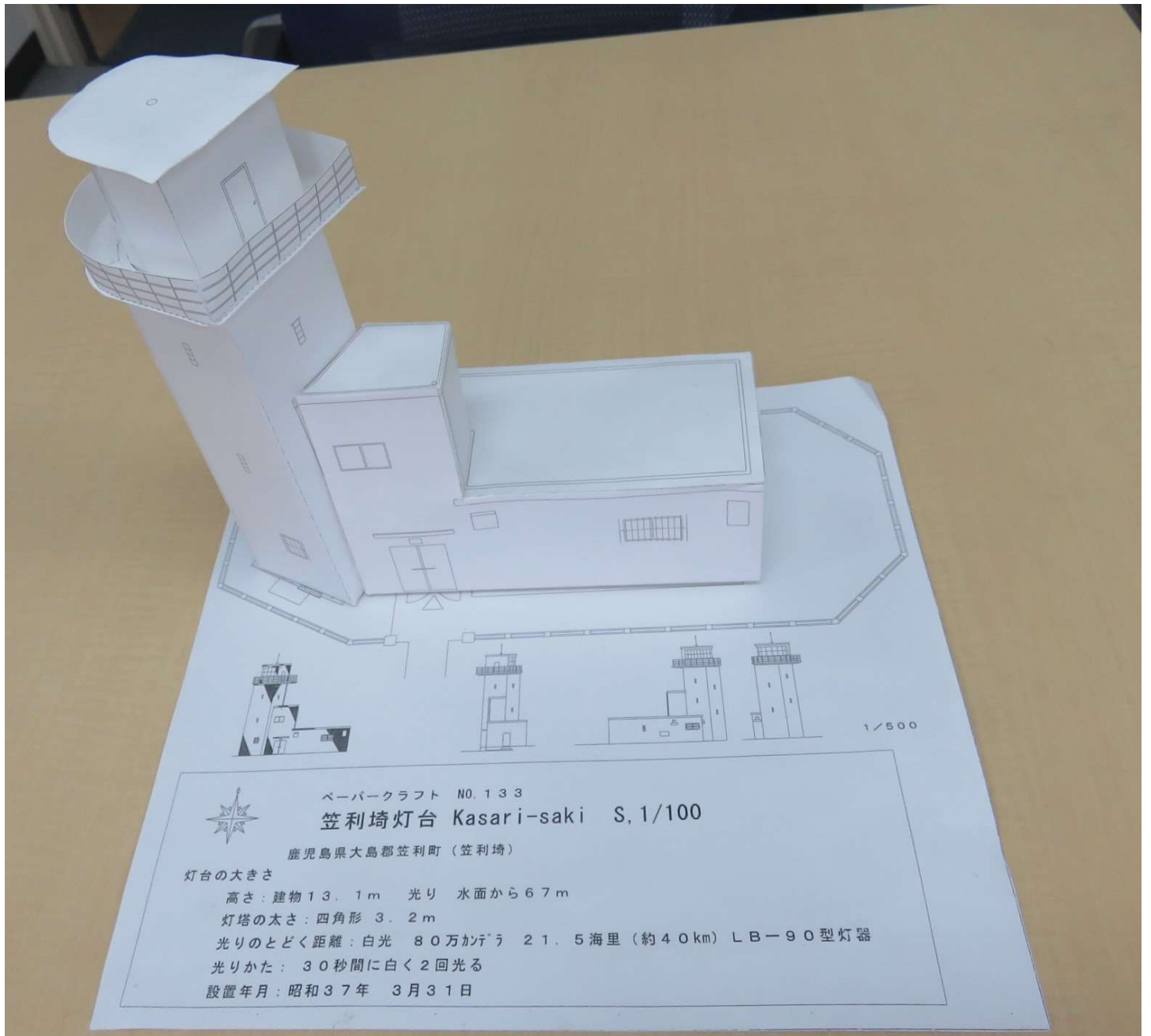
泳ぐウミガメが見える時もあります。



丸い水平線・青い海と空



広がるリーフ



ペーパークラフト